

「山の田小 フラワープロジェクト」

下関市立山の田小学校
にじいろネット、山の田小を愛する会

1 目的

- 「花」を Key word として、学校（児童・教職員）と保護者、地域住民がつながることを通して、児童の情操や感謝の気持ちを育む。
- 地域の連携力の強化や、特色ある学校作りの一端を担う。

2 活動内容

- 地域の花を学校に持ち寄っていただき、学校内に花を飾る。
- 学校花壇の一部を地域の方に開放し、季節の花を一緒に育てていく。
- 学校の敷地内や敷地周辺の剪定やクリーン作戦を実施する。

3 活動の実際

(1) 花生け活動（にじいろネット）

毎月第1第3月曜日を基本に、地域の方々が育てていらっしやったり、安く購入されたりした季節の花を学校に持ち寄り、全クラスと廊下等の各ポイントに設置してある花瓶に、花を生けていただいている。

花生けに来校される前の週の金曜日に、各クラスの花当番の児童は、職員玄関にある長机の上に花瓶を置いておく。月曜日の2校時ころ（9時30分）から、にじいろネットの花生け活動ボランティアの方が10名ほど来校され、持参されたきれいな花を全ての花瓶に生けてくださる。中休み（10時15分）に各クラスの花当番の児童は職員玄関に花を受け取りにいき、各学級に持ち帰って次の花生けまで、水替えをしながら大切に育てている。

花を受け取る児童の目はキラキラと輝き、お辞儀をしながら大きな声で「ありがとうございます！」とお礼を言ったり、花生けボランティアの方から花の名前を教えていただいたりしながら、自然なふれあいの中で感謝の心を育てている。



(2) 学校花壇の地域開放 (山の田小を愛する会)

学校の花壇を地域の方に開放し、季節の花を育てていただいている。

今年度は、キク・千鳥草・ひまわり等

が、美しい花を咲かせた。花のお世話は地域の方と、本校の校務技師が中心となり、水やり等に児童も参加した。花壇は学校の正門を入ってすぐの花壇であるので、色とりどりの季節の花は児童や来校者の目や心を和ませてくれている。



(3) 校地内外の剪定とクリーン作戦 (山の田小を愛する会)



毎年、学校の敷地内と学校周辺を、山の田小を愛する会の皆様にお手伝いいただき、剪定作業と環境整備に取り組んでいる。児童もクリーン作戦に参加し多くの地域の方々に支えていただいていることを実感しながら活動している。

自分たちの学校のために、地域の方々が汗を流しながら力をお貸しして下さる姿に、児童にはこの町に育ち、この学校で学んでいることに感謝する気持ちを育んでほしいと願っている。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・「花」という入り口から、児童を中心に、多くの人々がつながるしかけ作りに繋がったこと。
- ・地域の多くの方々の「花がいっぱいの学校」になるようにとの地域の願いを学校に取り入れることができたこと。
- ・「花」いっぱい環境で、児童の情操と感謝の気持ちを育むことに繋がったこと。

(2) 課題

- ・成果を確かなものとしていくために、活動の継続が必要なこと。
- ・より児童発信の活動や内容にすることで、自分たちの力で学校や地域をさらによくしていこうという心の芽生えを促していくこと。